



Wolfgang Amadeus
Mozart
(1756~1791)



小倉貴久子の

モーツァルトの クラヴィーアのある部屋

「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」には毎回、モーツァルトと関わりのある作曲家等をひとりずつゲストとして迎えます。モーツァルトとゲスト作曲家のクラヴィーアのソロ作品、またピリオド楽器奏者と共にお届けする室内楽、連弾、歌曲などなど、お話を交えながらのコンサートです。18世紀にタイムスリップしたかのようなひととき、「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」にみなさまをご案内いたします！

《第37回》2019年5月2日(木)午後7時開演(開場6:30)

G.Ch.ヴァーゲンザイル Georg Christoph Wagenseil [1715-1777]

小倉貴久子(クラヴィーア)・廣海史帆(ヴァイオリン)

G.Ch.ヴァーゲンザイル: ヴァイオリン伴奏つきクラヴィーアソナタ ハ長調 作品2-3、変ロ長調 作品2-5 / コンチェルト イ長調 WV330
モーツァルト: 小品ト長調 K.15y / ヴァイオリン伴奏つきクラヴィーアソナタト長調 K.9 / オランダの歌「ヴィレム・ファン・ナッサウ」による7つの変奏曲 二長調 K.25 / ヴァイオリンソナタ 変ロ長調 K.378

第37回、第39回の使用楽器: Klavier made by Chris Maene after A.Walter [1795]



《第38回》2019年7月31日(水)午後7時開演(開場6:30)

C.M.v.ヴェーバー Carl Maria von Weber [1786-1826]

小倉貴久子(クラヴィーア)・満江菜穂子(クラリネット)

C.M.v.ヴェーバー: クラリネットとクラヴィーアのための変奏曲 変ロ長調 作品33 / 協奏的大二重奏曲 変ホ長調 作品48 / 「舞踏への勧誘」変二長調 作品65
モーツァルト: 小品 変ロ長調 K.15aa / アレグロ 変ロ長調 K.400 / 「クラリネット五重奏曲 K.581終楽章」の主題による変奏曲 イ長調 K.Anh.137 / クラリネット五重奏曲 K.581 (大ソナタとして1809年に出版されたクラリネットとクラヴィーア編曲版)

第38回の使用楽器: Fortepiano made by Johann Georg Gröber [1820]



《第39回》2019年9月27日(金)午後7時開演(開場6:30)

L.モーツァルト Leopold Mozart [1719-1787]

小倉貴久子(クラヴィーア)・桐山建志(ヴァイオリン)・花崎 薫(チェロ)

L.モーツァルト: 「ナンネルの楽譜帳」より / 三重奏曲 第3番 イ長調 / クラヴィーアソナタ 第1番 へ長調
W.A.モーツァルト: 小品 二長調 K.15bb / 三重奏曲ト長調 K.496 / 三重奏曲ト長調 K.564



近江楽堂

東京オペラシティビル3F
全席自由: 1回券 4,000円(学生2,000円)
3回セット券 10,000円

後援: 日本モーツァルト愛好会 / 東京藝術大学音楽学部同声会
日本モーツァルト協会 / (一社)全日本ピアノ指導者協会
協力: KiKla

■チケット発売・お問い合わせ■
メヌエット・デア・フリューゲル(主催) ☎048-688-4921
mdf-ks@h7.dion.ne.jp
http://kikuko-mdf.com
近江楽堂 松木アートオフィス ☎03-5353-6937

■チケット発売■
東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999
イープラス e+ http://eplus.jp/

《第37回》G.Ch.ヴァーゲンザイル

ウィーンに生まれ宮廷との深い関わりをもち続け、若い頃は宗教曲や舞台作品を書き、後年はクラヴィアのヴィルトゥオーゾとしても名声を博したヴァーゲンザイル。膨大な数の器楽作品は、当時の様々な形式を取り入れた名曲揃い。また新しい装飾法や形式を追求し、ヨーロッパ各地で人気の音楽家でした。〈ナンネルの楽譜帳〉には彼の作品が含まれていて、そこに「5歳になる3日前、夜9時から9時半の間に習得」とレオポルトのメモが記されています。その後もコンチェルトを研究するなどモーツァルト父子はヴァーゲンザイルを高く評価していました。

幼いヴォルフガングは、当時流行っていた「ヴァイオリン伴奏付きクラヴィアソナタ」を作曲。ヴァーゲンザイルのこのジャンルの作品は、デュオソナタの形式になる前の過渡的形式としてではなく、優雅で華やかな宮廷の香りさえ感じさせる、ひとつの素晴らしい音楽のスタイルであることを私たちに伝えてくれます。

《第38回》C.M.v.ヴェーバー

大作曲家ヴェーバーの父とモーツァルトの妻コンスタンツェの父は兄弟です。モーツァルトとヴェーバーは縁戚関係にあるわけですが、音楽上でも強い結びつきがありました。ドイツ語によるジグシュピール《後宮からの逃走》やオペラ《魔笛》は、モーツァルトが自国語を意識して書いたオペラで、その精神をヴェーバーが受け継ぎ《魔弾の射手》に結実します。18世紀末、楽器として発展し晩年のモーツァルトに愛されたクラリネット。ヴェーバーもこの新出の楽器のためにコンチェルトや五重奏曲を書きました。

ヴェーバーは華麗な技巧をもつピアニストで〈舞踏への勧誘〉は愛妻カロリーネに捧げた魅力的な作品。ウィンナワルツの手本ともなりました。ヴェーバーがクラヴィアとクラリネットのために書いた作品と、曲中にコンスタンツェも登場するアレグロ K.400など、モーツァルトとヴェーバーの関係に思いを馳せるロマンティックな夜となることでしょう。

《第39回》L.モーツァルト

W.A.モーツァルトの父として、《ヴァイオリン奏法》の著者として知られるレオポルト・モーツァルトは豊かな機知と知恵の持ち主で、ザルツブルク宮廷礼拝堂楽団随一の知識人でした。1757年に宮廷作曲家に任命され、63年副楽長に昇進。演奏と作曲のピークを迎える頃に、天啓を受けるがごとく奇跡の息子の教育にその全生涯を捧げるようになります。71年以降作曲活動は終止し、息子ヴォルフガングの教育者、興行主、マネージャー役に徹しヨーロッパ中を巡り歩きます。幼少期のヴォルフガングの自筆譜には様々な形での父の筆跡が見られます。天才音楽家モーツァルト誕生は、レオポルトの音楽家としての知識を存分に生かしたエリート教育なくしてはありえませんでした。

生誕300年を迎えるレオポルトのトリオとソナタは、そんな偉大な父を感じさせる作品です。モーツァルトの心躍るトリオと共に、父と子の愛の軌跡を追想しながら近江楽堂での本シリーズを締めくくります。



小倉貴久子 クラヴィア
Kikuko Ogura

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞を得て首席卒業。日本モーツァルト音楽コンクール、ピアノ部門第1位。ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門及びフォルテピアノ部門第1位と聴衆賞受賞。様々なコンサートシリーズを展開する一方、音楽祭やテレビへの出演も数多い。浜松市楽器博物館コレクションシリーズの録音での演奏も高い評価を得ている。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが各新聞紙上で推薦盤、〈レコード芸術〉誌で特選盤に選ばれている。平成24年度文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉受賞。第30回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門【独奏・独唱部門賞】及び第48回JXTG音楽賞 洋楽部門奨励賞を2018年に受賞。著書にカラー図解「ピアノの歴史 (CD付き)」(河出書房新社)、共著にONTOMO MOOK「フォルテピアノから知る古典派ピアノ曲の奏法」他。東京藝術大学古楽科講師。



廣海史帆 ヴァイオリン
Shiho Hiromi

東京藝術大学大学院修了。第22回古楽コンクール(山梨)最高位、併せて〔蔵の街〕音楽祭賞を受賞。サント・ヨーロッパ音楽アカデミーに参加。NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。「バッハ・コレギウム・ジャパン」オーケストラ・リベラ・クラシカ「横浜シンフォニエッタ」等の公演・録音に多数参加するなど、古楽、モダンを問わず様々な活躍している。



満江菜穂子 クラリネット
Nahoko Mitsue

デン・ハーグ王立音楽院修了。クラシカル・クラリネットをE.ホープリッチ氏に師事。留学中「18世紀オーケストラ」「フライブルク・バロック・オーケストラ」などの公演に参加。モーツァルトの協奏曲を「クラシカル・プレイヤーズ東京」と共演。「バッハ・コレギウム・ジャパン」や「オーケストラ・リベラ・クラシカ」等で活躍中。昭和音楽大学講師。



桐山建志 ヴァイオリン
Takeshi Kiriya

東京藝術大学を経て同大学院修了。フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール(山梨)第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。デビューCD「シャコンヌ」を皮切りに多数のCDをリリース。愛知県立芸術大学教授、「エルデーディ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者。チェンバロの大塚直哉とデュオ・ユニット「大江戸バロック」を主宰。



花崎 薫 チェロ
Kaoru Hanazaki

東京藝術大学及びベルリン芸術大学卒業。文化庁在外研修員としてカールスルーエ音楽大学にて研修。第50回日本音楽コンクールチェロ部門第3位入賞。2011年3月まで新日本フィルハーモニー交響楽団首席チェリストを務める。「エルデーディ弦楽四重奏団」「東京シンフォニエッタ」他のメンバー。愛知県立芸術大学教授。東京藝術大学、武蔵野音楽大学講師。

.....シリーズ最終回.....

《第40回》記念公演 ~クラヴィアコンチェルト~
2019年12月7日(土) 第一生命ホール

L.v.ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven [1770-1827]

〈ピリオド楽器による室内オーケストラ〉

若松夏美(ヴァイオリン)、三宮正満(オーボエ)、塚田 聡(ホルン)ほか

* W.A.モーツァルト *

ロンド 二長調 K.382 / クラヴィアコンチェルト 第20番 二短調 K.466

* L.v.ベートーヴェン *

ポロネーズ 八長調 作品89 / クラヴィアコンチェルト 第4番 二長調 作品58

.....5月7日(火)一般発売.....

近江楽堂

(京王新線「初台」駅下車、オペラシティ方面出口3分)

〒163-1407 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3階

☎ 03-5353-6937 (近江楽堂・松木アートオフィス)